

[平成21年度設置]

計画の区分：高等専門学校

注1

熊本高等専門学校

注2

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

独立行政法人国立高等専門学校機構

平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名	ソウムカチョウ 総務課長	コ	エダ	ヨシ	ノリ
		小	枝	義	則
電話番号	0965-53-1210				
（夜間）	0965-53-1200				
F A X	0965-53-1219				
e-mail	so-kacho@kumamoto-nct.ac.jp				

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象高専等の概要等	1
	(1) 設置者	
	(2) 高専名	
	(3) 高専の位置	
	(4) 管理運営組織	
	(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等	
2	授業科目の概要	13
	(1) 八代キャンパス共通教育科	
	(2) 熊本キャンパス共通教育科	
	(3) 機械知能システム工学科	
	(4) 建築社会デザイン工学科	
	(5) 生物化学システム工学科	
	(6) 情報通信エレクトロニクス工学科	
	(7) 制御情報システム工学科	
	(8) 人間情報システム工学科	
3	施設・設備の整備状況, 経費	50
4	既設高専等の状況	52
5	教員組織の状況	53
	(1) 機械知能システム工学科	
	(2) 建築社会デザイン工学科	
	(3) 生物化学システム工学科	
	(4) 情報通信エレクトロニクス工学科	
	(5) 制御情報システム工学科	
	(6) 人間情報システム工学科	
	(7) 八代キャンパス共通教育科	
	(8) 熊本キャンパス共通教育科	
6	留意事項に対する履行状況等	54
7	その他全般的事項	57
	(1) 設置計画変更事項等	
	(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)	
	(3) 自己点検・評価等に関する事項	
	(4) 情報提供に関する事項	

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

独立行政法人 国立高等専門学校機構

(2) 大学名

熊本高等専門学校

(3) 大学の位置

(本部・八代キャンパス)

〒866-8501

熊本県八代市平山新町2627

(熊本キャンパス)

〒861-1102

熊本県合志市須屋2659-2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(コウノ イイチロウ) 河野 伊一郎 (平成17年8月10日)	(コバタケ ヒデフミ) 小畑 秀文 (平成24年4月1日) (ハヤシ ユウジロウ) 林 勇二郎 (平成21年4月1日)	(22) 平成24年4月1日で理事長交代(24)
校長		(ハセガワ ツトム) 長谷川 勉 (平成25年4月1日) (ミヤガワ ヒデアキ) 宮川 英明 (平成21年10月1日)	(22) 平成25年4月1日で校長交代(25)
機械知能システム工学科長		(ミヤモト ヒロユキ) 宮本 弘之 (平成23年4月1日) (カワサキ コウゾウ) 河崎 功三 (平成21年10月1日)	(22) 平成23年4月1日で学科長交代(24)

建築社会デザイン工学科		(ナカムラ ユウイチ) 中村 裕一 (平成25年4月1日) (フジノ カズノリ) 藤野 和徳 (平成23年4月1日) (ナカムラ ユウイチ) 中村 裕一 (平成22年4月1日) (オオコウチ ヤスマサ) 大河内 康正 (平成21年10月1日)	(22) 平成22年4月1日で学科長交代報告漏れ(25) 平成25年4月1日で学科長交代(25)
生物化学システム工学科長		(コハタ ススム) 木幡 進 (平成21年10月1日)	(22)
情報通信エレクトロニクス工学科長		(マツダ トヨノリ) 松田 豊稔 (平成21年10月1日)	(22)
制御情報システム工学科長		(オオツカ ヒロフミ) 大塚 弘文 (平成25年4月1日) (ナガタ マサノブ) 永田 正伸 (平成21年10月1日)	(22) 平成25年4月1日で学科長交代(25)
人間情報システム工学科長		(オヤマ ヨシフミ) 小山 善文 (平成21年10月1日)	(22)
八代キャンパス共通教育科長		(クボタ サトシ) 久保田 智 (平成22年4月1日) (イソガワ サトル) 五十川 読 (平成21年10月1日)	(22) 平成22年4月1日で科長交代報告漏れ(25)
熊本キャンパス共通教育科長		(ハッタ シゲキ) 八田 茂樹 平成21年10月1日)	(22)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年 限	入学定員	編入学定員	収容定員	
	年	人	年次 人	人	
機械知能システム工学 科	5	40	—	200	
建築社会デザイン工学 科	5	40	—	200	
生物化学システム工学 科	5	40	—	200	
情報通信エレクトロニ クス工学科	5	40	—	200	
制御情報システム工学 科	5	40	—	200	
人間情報システム工学 科 (準学士)	5	40	—	200	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

機械知能システム工学科

区分	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 (-) [-]	0人 (-) [-]	40人 (-) [-]	0人 (-) [-]	40人 () []	0人 () []	40人 () []	0人 () []	1.05倍	
志願者数	92 (-) [-]	- (-) [-]	92 (-) [-]	- (-) [-]	94 (-) [-]	- (-) [-]	73 () []	- (-) [-]		
受験者数	90 (-) [-]	- (-) [-]	91 (-) [-]	- (-) [-]	94 (-) [-]	- (-) [-]	72 () []	- (-) [-]		
合格者数	43 (-) [-]	- (-) [-]	43 (-) [-]	- (-) [-]	43 (-) [-]	- (-) [-]	43 () []	- (-) [-]		
B 入学者数	43 (-) [-]	- (-) [-]	43 (-) [-]	- (-) [-]	42 (-) [-]	- (-) [-]	41 () []	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.07		1.05		1.02			

建築社会デザイン工学科

区分	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 (-) [-]	0人 (-) [-]	40人 (-) [-]	0人 (-) [-]	40人 () []	0人 () []	40人 () []	0人 () []	1.06倍	
志願者数	65 (-) [-]	- (-) [-]	77 (-) [-]	- (-) [-]	55 (-) [-]	- (-) [-]	78 () []	- (-) [-]		
受験者数	64 (-) [-]	- (-) [-]	76 (-) [-]	- (-) [-]	55 (-) [-]	- (-) [-]	78 () []	- (-) [-]		
合格者数	45 (-) [-]	- (-) [-]	44 (-) [-]	- (-) [-]	43 (-) [-]	- (-) [-]	43 () []	- (-) [-]		
B 入学者数	43 (-) [-]	- (-) [-]	43 (-) [-]	- (-) [-]	43 (-) [-]	- (-) [-]	42 () []	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.07		1.07		1.05			

生物化学システム工学

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	40人	0人	40人	0人	40人	0人	40人	0人			1.05倍		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
志願者数	118	-	88	-	91	-	74	-					
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
受験者数	117	-	86	-	91	-	74	-					
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
合格者数	42	-	42	-	42	-	43	-					
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
B 入学者数	42	-	42	-	42	-	42	-					
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
入学定員超過率 B/A	1.05		1.05		1.05		1.05						

情報通信エレクトロニクス工学科

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	40人	0人	40人	0人	40人	0人	40人	0人			1.06倍		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
志願者数	94	-	75	-	89	-	91	-					
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
受験者数	91	-	73	-	89	-	88	-					
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
合格者数	43	-	43	-	43	-	43	-					
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
B 入学者数	43	-	43	-	43	-	42	-					
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
入学定員超過率 B/A	1.07		1.07		1.07		1.05						

制御情報システム工学科

区分	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人	0人	40人	0人	40人	0人	40人	0人	1.07倍	
	(-)		(-)		(-)		(-)			
	[-]		[-]		[-]		[-]			
志願者数	84	-	66	-	72	-	80	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(3)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
受験者数	82	-	65	-	72	-	79	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(3)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
合格者数	43	-	43	-	43	-	43	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(2)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
B 入学者数	43	-	43	-	43	-	43	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(2)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.07		1.07		1.07			

人間情報システム工学科

区分	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人	0人	40人	0人	40人	0人	40人	0人	1.06倍	
	(-)		(-)		(-)		(-)			
	[-]		[-]		[-]		[-]			
志願者数	97	-	83	-	84	-	82	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
受験者数	96	-	81	-	84	-	81	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
合格者数	44	-	43	-	43	-	43	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
B 入学者数	42	-	42	-	43	-	43	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
入学定員超過率 B/A	1.05		1.05		1.07		1.07			

(注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

機械知能システム工学科

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 43	[-] -	[-] 43	[-] -	[-] 42	[-] -	[] 41	[] -	平成23年1年次 退学者 1名 平成24年3年次 原級留置 2名
2年次	/		[-] 43	[-] -	[-] 42	[-] -	[] 42	[] -	
3年次			/		[-] 43	[-] -	[] 44	[] -	
4年次					/		[] 41	[] -	
5年次							/		
計			[-] 43	[-] 86	[-] 127	[] 168			

建築社会デザイン工学科

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 43	[-] -	[-] 44	[-] -	[-] 43	[-] -	[] 42	[] -	平成22年1年次 原級留置 1名 平成23年1年次 退学者 2名 平成23年2年次 退学者 1名 原級留置 4名 平成24年2年次 転学科受入 1名 原級留置 4名 退学者 4名 平成24年度3年次 原級留置 3名 退学者 1名 平成25年度3年次 編入 1名 平成25年度4年次 編入 1名
2年次	/		[-] 42	[-] -	[-] 47	[-] -	[] 47	[] -	
3年次			/		[-] 37	[-] -	[] 43	[] -	
4年次					/		[] 34	[] -	
5年次							/		
計			[-] 43	[-] 86	[-] 127	[] 166			

生物化学システム工学

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 42	[-] -	[-] 42	[-] -	[-] 43	[-] -	[] 42	[] -	平成22年1年次 退学者 1名 平成23年1年次 原級留置 1名 平成23年2年次 退学者 1名 原級留置 1名 平成24年2年次 退学者 1名
2年次	/		[-] 41	[-] -	[-] 42	[-] -	[] 43	[] -	
3年次			/		/		[-] 39	[-] -	
4年次	/						/		
5年次			/		/				
計	[-] 42	[-] -					[-] 83	[-] -	

情報通信エレクトロニクス工学科

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 43	[-] -	[-] 43	[-] -	[-] 45	[-] -	[-] 42	[] -	平成23年1年次 退学者 1名 原級留置 2名 平成23年2年次 原級留置 2名 転学科受入 1名 転学科転出 2名 平成24年2年次 退学者 1名 原級留置 2名 平成24年3年次 原級留置 3名 平成25年2年次 転学科受入 1名 平成25年3年次 転学科受入 1名
2年次	/		[-] 43	[-] -	[-] 43	[-] -	[-] 48	[] -	
3年次			/		/		[-] 42	[-] -	
4年次	/						/		
5年次			/		/				
計	[-] 43	[-] -					[-] 86	[-] -	

制御情報システム工学科

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 43	[-] -	[-] 43	[-] -	[-] 45	[-] -	[-] 44	[-] -	平成23年1年次 原級留置 2名 平成23年2年次 退学者 1名 原級留置 5名 転学科転出 1名 平成24年2年次 転学科受入 1名 転学科転出 4名 平成24年3年次 転学科転出 5名 平成24年1年次 退学者 1名 原級留置 1名 平成24年2年次 退学者 3名 原級留置 3名 平成25年2年次 転学科受入 1名 転学科転出 3名 平成25年3年次 転学科転出 1名 平成25年4年次 編入 2名
2年次	/		[-] 42	[-] -	[-] 43	[-] -	[-] 44	[-] -	
3年次			/		[-] 31	[-] -	[-] 36	[-] -	
4年次	/				[-] 33	[-] -	[-] -	[-] -	
5年次			/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
計	[-] 43	[-] 85			[-] 119	[-] 157	[-] -	[-] -	

人間情報システム工学科

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 42	[-] -	[-] 42	[-] -	[-] 43	[-] -	[-] 43	[-] -	平成23年1年次 退学者 1名 平成23年2年次 退学者 1名 原級留置 1名 転学科受入 2名 転学科転出 1名 平成24年2年次 転学科受入 2名 転学科転出 1名 平成24年3年次 転学科受入 5名 転学科転出 1名 平成24年2年次 退学者 2名 原級留置 1名 平成24年3年次 退学者 1名 原級留置 4名 平成25年2年次 転学科受入 2名 転学科転出 1名
2年次	/		[-] 43	[-] -	[-] 43	[-] -	[-] 45	[-] -	
3年次			/		[-] 45	[-] -	[-] 44	[-] -	
4年次	/				[-] 40	[-] -	[-] -	[-] -	
5年次			/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
計	[-] 42	[-] 85			[-] 131	[-] 172	[-] -	[-] -	

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

機械知能システム工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	43 人	0 人	平成22年度	人	人		0.0 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	43 人	1 人	平成23年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学1人	2.3 %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	42 人	0 人	平成24年度	人	人		0.0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	41 人	0 人	平成25年度	人	人		0.0 %
合 計	169 人	1 人					0.6 %

建築社会デザイン工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	43 人	2 人	平成22年度	人	人		4.7 %
			平成23年度	1 人	0 人	学力不足1人	
			平成24年度	1 人	0 人	学力不足1人	
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	44 人	6 人	平成23年度	2 人	0 人	学力不足2人	13.6 %
			平成24年度	4 人	0 人	就職1人、他の教育機関への入学・転学3人	
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	43 人	0 人	平成24年度	人	人		0.0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	42 人	0 人	平成25年度	人	人		0.0 %
合 計	172 人	8 人					4.7 %

生物化学システム工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	42 人	2 人	平成22年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学1人	4.8 %
			平成23年度	1 人	0 人	学力不足1人	
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	42 人	1 人	平成23年度	人	人		2.4 %
			平成24年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学1人	
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	43 人	0 人	平成24年度	人	人		0.0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	42 人	0 人	平成25年度	人	人		0.0 %
合 計	169 人	3 人					1.8 %

情報通信エレクトロニクス工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	43 人	1 人	平成22年度	人	人		2.3 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	1 人	0 人	その他	
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	43 人	1 人	平成23年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学1名	2.3 %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	43 人	0 人	平成24年度	人	人		0.0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	42 人	0 人	平成25年度	人	人		0.0 %
合 計	171 人	2 人					1.2 %

制御情報システム工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	43 人	4 人	平成22年度	人	人		9.3 %
			平成23年度	1 人	0 人	学力不足1名	
			平成24年度	3 人	0 人	学力不足1名 その他2名	
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	43 人	1 人	平成23年度	人	人		2.3 %
			平成24年度	1 人	0 人	その他1名	
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	43 人	0 人	平成24年度	人	人		0.0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	43 人	0 人	平成25年度	人	人		0.0 %
合 計	172 人	5 人					2.9 %

人間情報システム工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	42 人	3 人	平成22年度	人	人		7.1 %
			平成23年度	1 人	0 人	その他1名	
			平成24年度	2 人	0 人	その他2名	
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	42 人	2 人	平成23年度	1 人	0 人	その他1名	4.8 %
			平成24年度	1 人	0 人	学力不足1名	
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	43 人	0 人	平成24年度	人	人		0.0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	43 人	0 人	平成25年度	人	人		0.0 %
合 計	170 人	5 人					2.9 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要（学科毎に記載）

<八代キャンパス 共通教育科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	国語Ⅰ	1通	2			+	1					兼1 平成23年3月31日まで専任教授が病気休職のため担当者変更(22) 教員負担平準化のため担当者変更(24)
	国語Ⅱ	2通	2				1					兼1 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	国語Ⅲ	3通	2				+			1		教員負担平準化のため担当者変更(24)
	国語Ⅳ	4前	1			+	+			1		教員負担平準化のため担当者変更(25)
	世界史	2通	2				1		+			教員負担平準化のため担当者変更(23) 平成24年4月講師が准教授に昇任(24)
	日本史	3通	2				1	+	+			平成24年4月准教授が教授に昇任、教員負担平準化のため担当者変更(24)
	現代社会	1通	2				2			+		教員負担平準化のため担当者分担のため(22) 平成24年4月准教授が教授に昇任、教員負担平準化のため担当者変更(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	倫理B 倫理	2前	1				1	+				授業科目の名称変更のため(22) 「倫理」を「倫理B」とした。 平成25年4月准教授が教授に昇任のため(25)
	科学技術と現代社会	4後	1				1	2				平成25年4月准教授が教授に昇任、教員負担平準化のため担当者変更(25)
	数学Ⅰ	1通	6				1	2		+	+	教員負担平準化のため担当者変更(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	数学Ⅱ	2通	6				3	2	1	2	3	平成21年4月1日専任准教授が専任教授に昇任のため(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23) 教員負担平準化のため担当者変更(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	数学Ⅲ	3通	4				2	+	1	2		平成21年4月1日専任准教授が専任教授に昇任のため(22)
	多変数の微積分学	4前	1				1	2		+	2	平成21年4月1日専任准教授が専任教授に昇任のため(22) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	行列式と行列の応用	4後	1				2	+		+	2	平成21年4月1日専任准教授が専任教授に昇任のため(22) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	化学	1通	3				1					
	総合理科Ⅰ	1通 4前	2 +				1	1		+	+	3 7 4 兼2 授業科目の名称、配当年次、単位数の変更に伴う担当者変更 「総合理科Ⅰ」と「総合理科Ⅱ」を統合して「総合理科Ⅰ」とした。(22) 専任講師が在外研究員として不在のため担当者変更(23) 平成24年4月から授業担当教員が在外研究員から復帰(24) 平成25年4月講師が准教授に昇任のため(25)
	総合理科Ⅱ	4後	+				+			+		兼2 授業科目の名称、配当年次、単位数の変更に伴う担当者変更 「総合理科Ⅰ」と「総合理科Ⅱ」を統合して「総合理科Ⅰ」とした。(22)

一般科目	必修科目	物理 I	2通	3			1	4	1	兼3	専任講師が在外研究員として不在のため担当者変更(23) 平成24年4月から授業担当教員が在外研究員から復帰(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25) 平成25年4月講師が准教授に昇任のため(25)	
	物理 II	3通	2			1		4		3 兼2	教員負担平準化のため担当者変更(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)	
	総合理科 II 総合理科 III	3前	1		1	1		4		2 兼1	授業科目の名称変更のため(22) 「総合理科 III」を「総合理科 II」とした。 教員負担平準化のため担当者変更(24) 平成25年4月講師が准教授に昇任のため(25)	
	保健体育 I	1通	3		1	4		1		1 2 兼1	教員負担平準化のため担当者分担のため(22) 非常勤講師の担当科目変更(23) 平成25年4月准教授が教授に昇任のため(25)	
	保健体育 II	2通	2		1	4		1		兼1	平成25年4月准教授が教授に昇任のため(25)	
	保健体育 III	3通	2			4		1		3 兼1	教員負担平準化のため担当者変更(24) 平成25年4月准教授が教授に昇任、非常勤講師の担当科目変更(25)	
	スポーツ科学	4通	1		1	4		1		兼1		
	英語 I	1通	5		1		1	2	3	兼1	教員負担平準化のため担当者変更のため(22) 教員負担平準化のため担当者変更のため(24) 平成25年4月准教授が教授に昇任、教員負担平準化のため担当者変更(25)	
	英会話 I	1後	1								兼1	
	英語 II	2通	5		1	2	4	2	2	兼1	平成22年4月1日専任講師が専任准教授に昇任のため(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23) 教員負担平準化のため担当者変更(25)	
	英会話 II	2前	1								兼1	
	英語 III	3通	4			1	2	4	2			平成22年4月1日専任講師が専任准教授に昇任のため(22) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	英語 IV A	4前	1		1		1	1	2			平成25年4月准教授が教授に昇任、教員負担平準化のため担当者変更(25)
	英語 IV B	4後	1		1	1	2	4	2	3	兼1	平成22年4月1日専任講師が専任准教授に昇任のため(22) 平成25年4月准教授が教授に昇任、教員負担平準化のため担当者変更(25)
	情報基礎	1通	2		1	2	4			4	兼1	教員負担平準化のため担当者変更(23) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	基礎電気工学	2通	2				1				兼2	教員負担平準化のため担当者変更(25)
	ネットワーク入門	2前	1			4		4	4		兼1	教員負担平準化のため担当者変更、平成22年度報告の訂正(23) 教員負担平準化のため担当者変更(24)
	基礎情報工学	2通	2		1	1	4				2 兼3	平成22年7月1日専任准教授が専任教授に昇任のため(23) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	マイコンプログラミング入門	2後	1					4	4		2 兼1	平成22年度報告の訂正(23) 教員負担平準化のため担当者変更(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	プログラミング基礎	3通	2		1	1	4		4		5 兼4	平成22年7月1日専任准教授が専任教授に昇任、平成22年度報告の訂正(23) 教員負担平準化のため担当者変更(24)

選択科目	日本現代文学	5通	2		1						
	古典文学	5通	2		↓			1			教員負担平準化のため担当者変更(25) 平成24年4月准教授が教授昇任・報告漏れのため(25)
	経済学	5通	2		1	↓					平成25年4月准教授が教授に昇任のため(25)
	哲学	5通	2		1	↓					平成25年4月准教授が教授に昇任のため(25)
	健康科学 健康科学A	通 5前	2 ↓		1	↓		1			授業科目の名称、配当年次、単位数の変更のため(22) 「健康科学A」と「健康科学B」を統合して「健康科学」とした。 平成25年4月准教授が教授に昇任のため(25)
	総合英語A	5前	1		1	↓					平成25年4月准教授が教授に昇任のため(25)
	歴史と文化	5前	1					1			
	健康科学B	5後	↓				↓	↓			授業科目の名称、配当年次、単位数の変更のため(22) 「健康科学A」と「健康科学B」を統合して「健康科学」とした。
	総合英語B	5後	1			1		↓			平成24年4月講師が准教授昇任・報告漏れのため(25)
社会と法	5後	1			1	↓				平成25年4月准教授が教授に昇任のため(25)	
特別選択科目	一般特別セミナー	1・2・3・4・5通	4		1						

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 37	科目 11	科目	科目 48	科目 36	科目 10	科目	科目 46	
				[Δ1]	[Δ1]	[0]	[Δ2]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<熊本キャンパス 共通教育科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	必修科目	国語 I	1 通	2 3			1						設置審からの改善意見に基づき、キャンパス間の単位差をなくすために国語 I の単位を1減し、国語 I 演習を追加 (22)
		国語 I 演習	1 通	1			1						
		国語 II	2 通	2 3			1						設置審からの改善意見に基づき、キャンパス間の単位差をなくすために国語 II の単位を1減し、国語 II 演習を追加 (22)
		国語 II 演習	2 通	1			1						
		国語 III	3 通	2			1						兼 1 教員負担平準化のため担当者を追加 (25)
		国語 IV	4 通	1			1						
		政治・経済	1 通	2			1	0 1					担当予定の准教授が専攻科の科目を担当することになったため教授が全クラスを担当 (22)
		倫理 A 倫理	2 通	2				1					兼 1 設置審からの改善意見に基づき、単位数差をなくすために、科目名称を変更 (22) 担当准教授の在外研究教員として派遣のため担当者を変更 (25)
		世界史	2 通	2			1 1	0 1					教員負担平準化のため担当者を変更 (24)
		日本史	3 通	2			1						
		地理	1 通	2			1	1 0 2 0	1 2 1 3 2		1		
		数学 I	1 通	6						1			平成22年4月昇任により、講師を准教授に変更 (22) 平成26年4月採用予定で、未着任のため担当者変更 (22) 准教授が教授に昇任 (23) 他学年との担当持ち上がりのため、准教授を教授に変更 (23) 平成24年3月担当教授退職 (24) 平成24年4月担当助教採用 (24) 教員負担平準化のため担当者を変更 (24) 教員負担平準化のため担当者を変更 (25)
		数学 II	2 通	6			1 0	2 2	1 1		1 0		平成26年4月採用予定⑭で、未着任のため准教授1名を教授に変更 (23) 講師が准教授に昇任 (23) 平成24年4月担当助教採用 (24)

共通教育科目	必修科目	微分積分	3	通	3	1	0	1	3	1			平成24年4月担当助教採用(24) 教員負担平準化のため担当者 を変更(24)
		線形代数	3	通	2			0	1	0	1	兼 1	平成24年3月担当教授退職に伴 う担当者の変更(24)
		物理 I	2	通	3	1	0	1	1				担当者の教授昇任(23) 高専間教員交流による准教授 着任により担当者追加(23) 担当准教授の高専間教員交流 終了に伴い削除(25)
		物理 II	3	通	2	1	0	1	0	1		兼 1	担当者の教授昇任(23) 高専間教員交流による准教授 着任により担当者を追加 (24) 担当准教授の高専間教員交流 終了に伴い担当者を変更 (25)
		化学 I	1	通	3			1	0	1			平成24年4月准教授昇任(24)
		化学 II	2	通	2	1	0	1	0	1			教員負担平準化のため担当者 を追加(24) 平成24年4月准教授昇任(24)
		保健体育 I	1	通	3			1	2		1	兼 1	平成24年3月担当准教授退職 (24) 平成24年4月担当助教採用 (24) 教員負担平準化のため担当者 を追加(25)
		保健体育 II	2	通	3			1	2		1	兼 1	平成24年3月担当准教授退職 (24) 平成24年4月担当助教採用 (24) 教員負担平準化のため担当者 を追加(25)
		保健体育 III	3	通	2			1	2		1		平成24年3月担当准教授退職 (24) 平成24年4月担当助教採用 (24)
		保健体育 IV	5	通	2			1					
		スポーツ理論	4	通	1			1	2		1	兼 1	教員負担平準化のため担当者 を追加及び変更(25)
		生物科学	4	通	2							兼 2	教員負担平準化のため担当者 を追加(25)
		英語 I	1	通	5	1	1	0	0	1	0	1	兼 2

共通教育科目	必修科目	英語Ⅱ	2 通	5		+	1	1	1			他学年の担当が持ち上がりのため、講師を准教授に変更 (23) 平成24年3月担当講師が他高専に転出 (24) 教員負担平準化のため担当者を変更 (24) 担当者が他学年の担当持ち上がりのため担当者を変更 (25)
		英語Ⅲ	3 通	4		+	1	1	1		1 兼 2	平成24年3月担当講師が他高専に転出 (24) 教員負担平準化のため担当者を変更 (24) 担当者が他学年の担当持ち上がりのため担当者を変更 (25)
		英語Ⅳ	4 通	2		+	1		1			担当者が、他学年の担当持ち上がりのため担当者を変更 (25)
		英語Ⅴ	5 通	2					1		兼 1	教員負担平準化のため担当者を追加 (25)
		芸術	1 通	2							兼 2	
		コミュニケーション論	5 通	1			3	2	1			
		国際言語文化論	5 通	1			1				兼 4	選択必修であったものを必修科目へ変更 (22)
選択科目	法学	4 通		2						兼 1		
	経済学	4 通		2						兼 1		
	哲学	4 通		2			+			兼 1	担当准教授の在外研究教員として派遣のため担当者を変更 (25)	
	社会学	4 通		2						兼 1		
	国際言語文化論	5 通		1		+				兼 4		
	基礎科目応用第一	1-5通			1	1						
	基礎科目応用第二	1-5通			1	1						
	基礎科目応用第三	1-5通			1	1						
	特別学習第一	1-5通			1	1					ボランティア活動等の単位認定のため追加 (23)	
	特別学習第二	1-5通			1	1					ボランティア活動等の単位認定のため追加 (23)	
	地域社会活動一	1-5通			1	1					ボランティア活動等の単位認定のため追加 (25)	
	地域社会活動二	1-5通			1	1					ボランティア活動等の単位認定のため追加 (25)	
	国際・異文化理解	3 通			1	1					国際活動等の単位認定のため追加 (25)	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。

- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 30	科目 5	科目 3	科目 38	科目 33 [3]	科目 4 [Δ1]	科目 8 [5]	科目 45 [7]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<機械知能システム工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
必修科目	工学入門	1通	2				1			1		平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)	
	応用数学	4通	2								兼1	教員負担平準化のため担当者変更(25)	
	応用物理	4通	2				1				兼+		
	情報処理 I	4前	1			1							
	情報処理 II	4後	1			1							
	技術英語	5通	2				3	1				兼1	教員負担平準化のため担当者変更(23) 教員負担平準化のため担当者変更(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	機械工学概論	2後	1							1			
	科学技術史	3後	1				1	1			1		教員負担平準化のため担当者変更(24)
	製図基礎 I	1通	2					1					教員負担平準化のため担当者変更(23)
	製図基礎 II	2通	2				1	1					教員負担平準化のため担当者変更(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	ものづくり実習 I	1通	4					2 1 2			1		教員負担平準化のため担当者変更(22) 教員負担平準化のため担当者変更(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	ものづくり実習 II	2通	4				1	1 1			1		教員負担平準化のため担当者変更(23) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	数理解析	5通	2				1						
	力学基礎	3通	2				1	1					教員負担平準化のため担当者変更(25)
	機械工作学	3通	2				1						
	材料力学	4通	2				2	1					教員負担平準化のため担当者変更(25)
	マテリアル学	5通	2				2						
	熱力学	4通	2				1						
	流体力学	4通	2				1	1					平成25年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(25)
	熱流体現象論	5通	2				1	1			1		平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)
	機械力学	4通	2					1					
	計測工学	4通	2					1					
	制御工学	5通	2					1					
	電気回路	3通	2					1			1		教員負担平準化のため担当者変更(24)
	電子回路	3通	2					1 1				兼1	教員負担平準化のため担当者変更(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	電気磁気学	4通	2									兼1	
機械設計製図 I	3通	2				1	1			1		平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)	
機械設計製図 II	4通	2				1	1					平成25年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(25)	
総合設計	5通	2				1							

専門科目	総合実習Ⅰ	3通	2		3	2			教員負担平準化のため担当者変更(24)
	総合実習Ⅱ	4通	2		8 6	7 8 7		1 2 3	平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23) 平成25年4月付け准教授から教授へ昇任2名、助教から准教授へ1名昇任(25)
	機械知能システム工学実験Ⅰ	3通	2		3 2	1 2 3		1	教員負担平準化のため担当者変更(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	機械知能システム工学実験Ⅱ	4通	2		1	3 2		1 2	平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	卒業研究	5通	8		8 6	7 8 7		1 2 3	平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23) 平成25年4月付け准教授から教授へ昇任2名、助教から准教授へ1名昇任(25)
	エンジニア総合学習	1-3通	1		2 1	2 1 2 1		1 1	教員負担平準化のため担当者変更(22) 平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23) 担任変更のため担当者変更(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	進路セミナー	4通	1			1			
選択科目	生産システム	5前		1		1			
	精密加工	5後		1		1			
	塑性加工	5前		1	1				
	構造計算力学	5後		1		1			
	数値熱流体力学	5前		1	1	1			平成25年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(25)
	エネルギー変換工学	5後		1		1		1	平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)
	環境エネルギー技術	5前		1	1	1			平成25年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(25)
	機械振動学	5後		1	1				
	シーケンス制御	5前		1	1				
	デジタル回路	5後		1		1			
	デジタル信号処理	5前		1		1			
	電気電子デバイス	5後		1		1			
	組込みシステム	5前		1				1	
	コンピュータネットワーク	5後		1		1			
	生体工学	5前		1		1			
	ロボットテクノロジー	5後		1				1	
	ナノテクノロジー	5後		1					兼1
	ソフトウェア工学概論	5前		1					兼1
	数値解析	5前		1					兼1
	画像処理	5後		1					兼1
インターンシップ	4・5通		1		1				
複合工学セミナーⅠ	4・5通		1		1			1 2 1 兼2	平成21年3月兼任教員自己都合退職のため(22) 平成22年度報告の訂正(23) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
複合工学セミナーⅡ	4・5通		1						兼2

特別 選択 科目	創造セミナー	1・2・ 3・4・5 通	10	8 6 4	7 8	1 2	教員負担平準化のため担当者変更 (24) 平成25年4月付け准教授から教授へ昇 任2名、助教から准教授へ1名昇任 (25)
	専門特別セミナー			8 6 4	7 8	1 2	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 36	科目 25	科目	科目 61	科目 36	科目 25	科目	科目 61	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<建築社会デザイン工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
必修 科目	工学入門	1通	2			4 8 5	8 2 7 6 8			1 2 3	認可申請書別紙1号様式誤記入のため訂正 (正) 教授6, 准教授8, 助教2 (誤) 教授5, 准教授8, 助教3 平成22年4月専任准教授2名が専任教授に昇任のため(22) 平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23) 教員負担平準化のため担当者変更(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	応用数学	4通	2			1					兼1 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	応用物理	4通	2			1					
	情報処理 I	4前	1			1				1	教員負担平準化のため担当者変更(25)
	情報処理 II	4後	1				1			1	教員負担平準化のため担当者変更(25)
	技術英語	5通	2			3 2	1 1			1	平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22) 平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)
	創造演習	1通	2			1 2	4 1			1 2	平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	応用数学演習	5前	1			1					
	基礎製図	1通	2			1	1 1			1	平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22) 平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)
	設計製図 I	2通	2				2 1			1	平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)
	設計製図 II	3通	2			1	1				兼1 平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)
	測量学及び同実習 I	1通	2			1	1 2				平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23)
	測量学及び同実習 II	2通	2			1	1 2				教員負担平準化のため担当者変更(23) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	地形情報処理	3通	2				1				
	建築一般構造	3通	2			1	1				平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)
	建設材料	2通	2			1					
	土質工学	3通	2				1				
	構造力学 I	2後	1			1	1				兼1 平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22) 平成24年3月31日退職後、嘱託教授(再雇用)として科目担当(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	構造力学 II	3通	2			1					兼1 平成24年3月31日退職後、嘱託教授(再雇用)として科目担当(24)
	構造力学 III	4通	2			1					兼1 教員負担平準化のため担当者変更(25)
鉄筋コンクリート工学	4通	2			2 1	1				平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)	

専門科目	鋼構造工学	5通	2			1							
	地域及び都市計画	4前	1							兼1			
	環境エネルギーシステム	4後	1			1							
	地球環境工学	5後	1		3								
	メディア造形	3通	2		1	1		1					
	工学演習	3後	1			1							
	建築社会工学実験 I	3通	2		3 2	3 4							平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)
	建築社会工学実験 II	4通	2		3 2	3 4 3			1				平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任及び教員負担平準化のため担当者変更(23) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	建築社会工学実験 III	5前	1		2 1	1 2							平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)
	卒業研究	5通	8		8 5	8 7 6 8				1 2 3			認可申請書別紙1号様式誤入力のため訂正 (正) 教授6, 准教授8, 助教2 (誤) 教授5, 准教授8, 助教3 平成22年4月専任准教授2名が専任教授に昇任のため(22) 平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23) 平成25年4月助教1名が准教授に昇任(25) 教員負担平準化のため担当者変更(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23) 担任変更のため担当者変更(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	エンジニア総合学習	1-3通	1		1 2 1	2 1				1 兼2			
	進路セミナー	4通	1			1							
	建築環境工学	4通	2		1								
	建築計画 I	4通	2			1			1				平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	建築設計演習 I	4通	4		1	2 1 2							平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	建築法規	4前	1										
	建築施工法 I	4後	1		1	1							平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)
	計画学	4通	2			1							
	水理学	4通	2			1							
地盤工学	4通	2			1								
土木設計演習 I	4通	2			2								
ITデザイン演習	4通	2			2			1				教員負担平準化のため担当者変更(25)	
建築設備	5前	1		1									
建築施工法 II	5後	1		1	1							平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)	
建築構造設計	5通	2											
建築史	5通	2			1								
建築計画 II	5前	1		1	1							平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)	
建築設計演習 II	5通	3		1	2 1 2			1				平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22) 平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)	

選択科目	交通工学	5前	1		1						
	河川海岸工学	5通	2	1	1						
	環境衛生工学	5通	2	1							
	土木施工法	5前	1	2	3						
	土木構造設計	5前	1		1						
	建築社会工学実験Ⅳ	5後	1	1	1						
	土木設計演習Ⅱ	5通	2		2						
	情報化社会論	5前	1		1		↓			平成25年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(25)	
	電気工学演習	5後	1		1		↓			平成25年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(25)	
	ネットワークシステム	5前	1	1			↓			認可申請書別紙1号様式誤入のため訂正(22) (正) 教授1, 助教0 (誤) 教授0, 助教1	
	環境情報計測	5後	1		1						
	リモートセンシング	5前	1	1	1						
	環境保全工学	5後	1	1	1						
	防災工学	5前	1	1	1						
	地域社会工学	5後	1	3	4						
	景観工学	5後	1	1	1	2				平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)	
	ソフトウェア工学概論	5前	1						兼1		
	数値解析	5前	1						兼1		
	画像処理	5後	1		1		↓			平成25年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(25)	
	インターンシップ	4・5通	1	1	1					教員負担平準化のため担当者変更(25)	
複合工学セミナーⅠ	4・5通	1		↓				2 兼1	教員負担平準化のため担当者変更(25)		
複合工学セミナーⅡ	4・5通	1	1					1 兼1	平成21年3月兼任教員自己都合退職のため(22) 平成23年4月兼任教員の後任補充のため(23)		
特別選択科目	創造セミナー	1・2・3・4・5通	10		8 ↓	8 7		↓		教員負担平準化のため担当者変更(24) 平成25年4月助教1名が准教授に昇任(25)	
	専門特別セミナー				8 ↓	8 7		↓		教員負担平準化のため担当者変更(24) 平成25年4月助教1名が准教授に昇任(25)	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 33	科目 40	科目	科目 73	科目 33 [0]	科目 40 [0]	科目 [0]	科目 73 [0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<生物化学システム工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	工学入門	1通	2			+	+	+		3 +	兼1	平成21年3月専任准教授が自己都合退職のため担当者変更(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23) 教員負担平準化のため担当者変更(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	応用数学	5通	2								兼1	
	応用物理	5通	2								兼1	
	情報処理 I	4前	1				1					
	情報処理 II	5前	1				1					
	技術英語	4通	2			1	+	1		1 +		認可申請書別紙第1号様式誤記入のため訂正(22) (正)教授1,准教授1,助教0 (誤)教授0,准教授1,助教1 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	生物工学基礎実習	1通	3			2 +	+	2 +		2 +		認可申請書別紙第1号様式誤記入のため訂正 (正)教授2,准教授2,助教0 (誤)教授1,准教授2,助教1 平成21年3月専任准教授が自己都合退職及び教員負担平準化のため担当者変更(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23) 平成24年4月助教が講師に昇任、教員負担平準化のため担当者変更(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	生物基礎 I	1通	2				+			1		教員負担平準化のため担当者変更(25)
	生物工学演習 I	1後	1			+	+	2 +		2 +		平成21年3月専任准教授が自己都合退職のため担当者変更(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23) 教員負担平準化のため担当者変更(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	生物工学実習	2通	2			1 +	1 3 2 +	1 +		+		平成22年3月専任准教授が自己都合退職後、後任に専任講師採用のため(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23) 平成24年4月講師が准教授に昇任(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	生物基礎 II	2通	2				1 2 +	+		+		平成21年10月専任助教が専任准教授に昇任のため(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23) 平成24年4月助教が講師に昇任(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	化学基礎	2通	2				2			1 +		教員負担平準化のため担当者変更(23) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	生物工学演習 II	2後	1			+	1	1		+		教員負担平準化のため担当者変更(23) 平成24年4月助教が講師に昇任(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	基礎電子工学	3通	2							1	兼1	教員負担平準化のため担当者変更(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	工業電子計測	4後	1							1	兼1	教員負担平準化のため担当者変更(25)

	創造実験	4通	4		6 5	4 7 6 7	2 +	3 2 3	認可申請書別紙第1号様式誤記入のため訂正 (正) 教授6, 准教授7, 助教2 (誤) 教授5, 准教授7, 助教3 平成22年3月専任教授が自己都合退職後、後任不補充のため 平成22年3月専任准教授が自己都合退職後、後任に専任講師採用のため(22) 平成22年度報告の訂正(23) 平成25年4月付けで准教授から教授へ昇任2名、助教から講師へ昇任1名、助教採用2名、専任准教授から専攻科准教授へ配置換1名(25)
	生物工学セミナー	5通	2		6 5	4 7 6 7	2 +	3 2 3	認可申請書別紙第1号様式誤記入のため訂正 (正) 教授6, 准教授7, 助教2 (誤) 教授5, 准教授7, 助教3 平成22年3月専任教授が自己都合退職後、後任不補充のため 平成22年3月専任准教授が自己都合退職後、後任に専任講師採用のため(22) 平成22年度報告の訂正(23) 平成25年4月付けで准教授から教授へ昇任2名、助教から講師へ昇任1名、助教採用2名、専任准教授から専攻科准教授へ配置換1名(25)
	卒業研究	5通	8		6 5	4 7 6 7	2 +	3 2 3	認可申請書別紙第1号様式誤記入のため訂正 (正) 教授6, 准教授7, 助教2 (誤) 教授5, 准教授7, 助教3 平成22年3月専任教授が自己都合退職後、後任不補充のため 平成22年3月専任准教授が自己都合退職後、後任に専任講師採用のため(22) 平成22年度報告の訂正(23) 平成25年4月付けで准教授から教授へ昇任2名、助教から講師へ昇任1名、助教採用2名、専任准教授から専攻科准教授へ配置換1名(25)
	エンジニア総合学習	1-3通	1		3 2 +			+	1 -2 兼3
	進路セミナー	4通	1			1 +	+		兼1
選択科目	製図基礎	5前	1						兼1
	プレゼンテーション	5後	1			1			兼1
	プログラミング応用	5前	1						兼1
	データベース概論	5後	1			1			兼1
	パターン認識	5前	1		1				兼1
	電子素子	5後	1						兼1
	生命情報概論	5前	1			1 +	+		兼1
	材料工学	5後	1		1 +	+			兼1
	医薬品工学概論	5前	1		1 +				兼1
	食品学概論	5前	1		1				兼1
応用食品学	5後	1		1				兼1	
細胞機能工学	5後	1			1			兼1	
応用生体分子	5前	1			1 +	+		兼1	

	分析技術概論	5後		1	1														
	分離技術	5前		1	1	+													平成25年4月専任准教授が専任教員へ昇任のため(25)
	技術関連法規概論	5後		1									1						兼任教員、兼任教員から専任教員へ担当者変更(25)
	ソフトウェア工学概論	5前		1															兼1
	数値解析	5前		1	1														兼1
	画像処理	5後		1															兼1
	インターンシップ	4・5通		1	1	+													平成22年3月専任准教授が自己都合退職後、後任に専任講師採用のため(22) 平成24年4月講師が准教授に昇任(24) 教員負担平準化のため担当者変更(25)
	複合工学セミナーⅠ	4・5通		1															兼2
	複合工学セミナーⅡ	4・5通		1	+	+													2兼1
																			平成22年3月専任教授が自己都合退職後、後任不補充のため(22) 平成22年度開講なし 平成23年4月専任教授を採用(23) 教員負担平準化のため担当者変更及び仙人准教授から専攻科准教授へ配置換え1名(25)
特別選択科目	創造セミナー		1・2・3・4・5通	10	6 4 +	4 7	2 +	3 2											教員負担平準化のため担当者変更(24) 平成25年4月付けで准教授から教授へ昇任2名、助教から講師へ昇任1名、助教採用2名、専任准教授から専攻科准教授へ配置換え1名(25)
	専門特別セミナー				6 4 +	4 7	2 +	3 2											教員負担平準化のため担当者変更(24) 平成25年4月付けで准教授から教授へ昇任2名、助教から講師へ昇任1名、助教採用2名、専任准教授から専攻科准教授へ配置換え1名(25)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年度」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 44	科目 24	科目	科目 68	科目 44	科目 24	科目	科目 68	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年度に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<情報通信エレクトロニクス工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	応用数学 I	4 通	2								兼 1	
	応用数学 II	5 通	2								兼 1	
	応用物理	4 通	2								兼 1	
	創造基礎工学	1 通	2					+	+	2	兼 1	教員負担平準化のため担当者を変更 (24) 教員負担平準化のため担当者を変更 (25)
	基礎電気学 I	1 通	2			+	+	+	0	+	兼 1	平成26年4月採用予定で、未着任のため担当者変更 (22) 平成22年度報告の訂正 (23) 平成26年4月採用予定⑥で、未着任のため教授を准教授に変更 (23) 教員負担平準化のため担当者を変更 (24) 教員負担平準化のため担当者を変更 (25)
	基礎電気学 II	2 通	3			1	+	+	+	+	兼 1	平成22年度報告の訂正 (23) 平成26年4月採用予定⑥で、未着任のため教授を助教に変更 (23) 教員負担平準化のため担当者の追加 (24) 教員負担平準化のため担当者を削除 (25)
	電気磁気学 I	3 通	2			1					兼 1	教員負担平準化のため担当者を変更 (25)
	電気磁気学 II	4 通	2				+				兼 1	教員負担平準化のため担当者を変更 (25)
	電気回路学 I	3 通	2			1					兼 1	教員負担平準化のため担当者を変更 (25)
	電気回路学 II	4 通	2			+	1				兼 1	教員負担平準化のため担当者を変更 (25)
	電子回路学 I	3 通	2			+					兼 1	教員負担平準化のため担当者を変更 (25)
	電子回路学 II	4 通	2								兼 1	
	電子工学	3 通	2			+	+	1				担当者死亡のため、担当者を変更 (23) 教員負担平準化のため担当者を変更 (24)
	電子計測	3 通	2			1	+					教員負担平準化のため担当者を変更 (25)

					0 1 0	1 0	1 1 2		平成22年度報告の訂正 (23) 平成26年4月採用予定⑥ で、未着任のため担当者 (教授から准教授)を更 更(23) 担当教員配置換えのため 担当者を変更(23)
						1 0	1		平成24年4月担当准教授が 教授昇任(24)
					1 0	1			平成24年4月担当准教授が 教授昇任(24)
							1		
						2 1	1	1	担当予定教員転出のため 新任教員へ交代(22) 平成25年4月担当助教が准 教授へ昇任(25)
必 修 科 目					2 1 0	2 1 1	1	1	平成22年4月昇任により、 担当者(准教授を教授) に変更(23) 教員負担平準化のため担 当者変更(23) 平成24年4月担当准教授が 教授昇任(24) 教員負担平準化のため担 当者を変更(25)
								1 1	教員負担平準化のため担 当者を変更(25)
						1 0	1	0	平成22年度履行状況報告 書記載漏れ(担当予定教 員転出のため新任教員へ 交代)(23) 平成25年4月担当助教が准 教授へ昇任(25)
専 門 科 目							1		
							1 0	0 1	平成22年度履行状況報告 書記載漏れ(担当者の准 教授昇任)(23)
					1				兼 1 教員負担平準化のため担 当者を変更(25)
					1 0	0 1			平成22年度履行状況報告 書記載漏れ(担当者の教 授昇任)(23)
					1				
									兼 1 技術者倫理及び知財に関 する教育を実施するため 科目を追加(25)
					1	1			

	電子通信工学実験Ⅰ	3 通	3		1 2 3 2	2 1 1 2 2	2 1 0 1	兼 1	平成22年度報告の訂正 (23) 平成22年度履行状況報告書記載漏れ (担当予定教員転出のため新任教員へ交代) (23) 教員負担平準化のため、担当者を変更 (24) 平成23年10月担当助教採用 (24) 教員負担平準化のため担当者を変更 (25)
	電子通信工学実験Ⅱ	4 通	3		2 3 2 1	2 2 1 1	1 0 1 2 3	兼 1	平成22年度報告の訂正 (23) 平成22年度履行状況報告書記載漏れ (担当者の准教授昇任) (23) 平成24年4月担当助教が准教授昇任 (24) 平成24年4月担当准教授が教授昇任 (24) 教員負担平準化のため担当者を変更 (25)
	電子通信工学実験Ⅲ	5 通	3		1 2 1	2 3	1 0	兼 2	担当者死亡のため、担当者の変更 (23) 平成22年度履行状況報告書記載漏れ (担当者の教授昇任) (23) 教員負担平準化のため、担当者を変更 (24)
	卒業研究	5 通	8		5 6 5	6 5 6	2 2	兼 3	担当者死亡のため、担当者の変更 (23) 平成22年度履行状況報告書記載漏れ (23) 担当者の教授昇任 担当者の准教授昇任 担当者 (助教) の採用 平成25年4月担当助教が准教授へ昇任 (25) 平成25年4月担当助教を採用 (25)
選択科目	画像処理工学	4 通	2			1		兼 1 兼 1	平成22年度履行状況報告書記載漏れ (担当者の准教授昇任) 平成24年4月担当准教授が教授昇任 (24) 担当者死亡のため、担当者の変更 (23) 教員負担平準化のため担当者を変更 (25)
	Webコミュニケーション	4 通	2			1			
	メディア工学	5 通	2				1 0 1		
	コミュニケーション装置工学	5 通	2						
	アナログシステム	5 通	2						
	デジタルシステム	5 通	2		1 0	1			
	実装工学	5 通	2		1				
半導体プロセス	4 通	2		1 1					

	オプトエレクトロニクス	5 通	2		1					兼 1	担当者死亡のため、担当者の変更(23) 教員負担平準化のため、担当者を変更(24)
	電子材料	4 通	2			1					
	電気通信法規	5 通	1		1						
	技術英語	4 通	1		1						英語力の強化を図るため科目を追加(25)
特別 科目 選択	専門科目応用第一	1-5通		1	1						
	専門科目応用第二	1-5通		1	1						
	国際化プロジェクト	1-5通		1	1						海外での活動経験を単位として認定するため科目を追加(25)
	インターンシップ	4 通		1	1						

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
32	11	3	46	33	12	4	49	
				[1]	[1]	[1]	[3]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<制御情報システム工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	応用数学 I	4 通	2									兼 1	
	応用数学 II	5 通	2									兼 1	
	応用物理	4 通	2									兼 1	
	基礎電気学 I	1 通	2				1	2 +			0 +		新任教員着任のため、担当者を准教授に変更 (22) 科目充実のため、担当者数見直しによる担当者の追加 (23) 教員負担平準化のため担当者を変更 (25)
	制御工学基礎	1 通	2				0 +	0 +			2 +		基礎電気学 I の担当変更に伴う担当者の変更 (22) 教員負担平準化のため担当者変更 (23) 教員負担平準化のため担当者を変更 (24)
	情報リテラシー	1 通	2				1 0				1		科目充実のため、担当者数見直しによる担当者の追加 (23) 教員負担平準化のため担当者を変更 (25)
	制御情報システム概論	1 通	2				5 3 2 5 +	6 7 6 8			2 3 2 4	兼 2 兼 3 兼 2	平成22年度報告の訂正 (23) 教授未着任のため担当者(教授)の削除 (23) 教授未着任のため担当者(教授)の追加 (23) 教授未着任のため兼任担当者の追加 (23) 後任教員⑦を准教授採用に伴う担当者(准教授)の追加 (23) 平成22年4月採用により担当者(助教)を追加 (23) 教員負担平準化のため担当者を変更 (24) 平成24年3月兼担教授退職 (24) 平成24年4月担当准教授が教授昇任 (24) 教員負担平準化のため担当者を変更 (25)

必修科目	基礎電気学Ⅱ	2	通	3	1 0	2 1 1 2	0 1 0 0	平成22年度報告の訂正(23) 年度進行中のため、担当者(准教授)の変更(23) 平成24年4月採用予定⑦で、未着任のため担当者(教授1名を助教)の変更(23) 教員負担平準化のため担当者を変更(24)
	情報処理	2	通	3	0 2 0	1 2 0 1	0 1	平成22年度報告の訂正(23) 平成26年4月採用予定⑩で、未着任のため担当者(教授2名を准教授)の変更(23) 平成26年4月採用予定⑩で、未着任のため担当者(教授2名を准教授)の変更(23) 教員負担平準化のため担当者を変更(24)
	計算機工学Ⅰ	2	通	3	1 2 0	1	0 2	平成22年度報告の訂正(23) 平成24年4月採用予定⑨で、未着任のため担当者を変更(23) 教員負担平準化のため担当者を追加(25)
	電気磁気学Ⅰ	3	通	2		1		
	電気回路学Ⅰ	3	通	2		1		
	電子回路学Ⅰ	3	通	2		1	1	平成25年4月担当助教が准教授昇任(25)
	計算機工学Ⅱ	3	通	2	1 1 0	1	1 0 1	兼 1 平成22年度報告の訂正(23) 教員負担平準化のため担当者を変更(24) 平成25年4月担当助教が准教授昇任(25) 教員負担平準化のため担当者を追加(25)
	プログラミング通論	3	通	2	0 1 0	1 0 1	1	平成22年度報告の訂正(23) 教員負担平準化のため担当者を変更(24) 担当教員の所属変更に伴う担当者の変更(25)
	制御情報システム工学演習	3	通	2	1 0	1	1	教員負担平準化のため担当者を追加(24) 教員負担平準化のため担当者を変更(25)
	マイクロコンピュータ基礎	3	通	2	1 0		0 1	平成22年度報告の訂正(23)

電気磁気学Ⅱ	4 通	2			1 0 1				平成22年度報告の訂正 (23) 教員負担平準化のため担当 者を変更(25)
電気回路学Ⅱ	4 通	2				1			
電子回路学Ⅱ	4 通	2				1	1		平成25年4月担当助教が准教 授昇任(25)
組込みシステム基礎論	4 通	2			1	1			教員負担平準化のため担当 者を変更(25)
制御工学Ⅰ	4 通	2			1	1			教員負担平準化のため担当 者を変更(25)
オペレーティングシステム	4 通	2			1 0 1	0 1			平成22年度報告の訂正(23)
ハードウェア設計論	4 通	2				1			
電子制御回路学	4 通	2				1	1		平成25年4月担当者助教が准 教授昇任(25)
制御工学Ⅱ	5 通	2			1				
メカトロニクス工学	5 通	2			1			兼 1	担当者を専任教授へ変更 (25)
組込みシステム設計	5 通	2			1	1			平成25年4月担当准教授が教 授昇任(25)
知的生産学	5 通	1						兼 1	技術者倫理及び知財に関す る教育を実施するため科目 を追加(25)
制御工学実験Ⅰ	3 通	3			2 1 0	5 2 3	1 2 2		平成22年度報告の訂正 (23) 教員負担平準化のため担当 者を変更(24) 担当教員の所属変更に伴い 担当者を削除(25)
制御工学実験Ⅱ	4 通	3			3 2 1	3 2 2	2 1	兼 1	平成22年度報告の訂正 (23) 教員負担平準化のため担当 者を変更(25) 平成25年4月担当助教の採用 (25)
制御工学実験Ⅲ	5 通	3			2 0	2 3	1	兼 1	平成22年度報告の訂正
卒業研究	5 通	8			5 1	6 8	2 4	兼 2	平成22年度報告の訂正
計測工学	4 通	2			1	1			教員負担平準化のため担当 者を追加(25)
プログラミング特論	4 通	2				1	1		教員負担平準化のため担当 者を変更(25)
信号処理	4 通	2				1			

選択科目	通信工学	4 通	2		1	0	1			兼 1 平成22年度報告の訂正(23) 教員負担平準化のため担当者を変更(25) 教員負担平準化のため担当者を変更(25) 英語力の強化を図るため科目を追加(25)
	バイオメカニクス	5 通	2					1		
	人間工学	5 通	2		1		1			
	ソフトコンピューティング	5 通	2					1		
	生体情報工学	5 通	2		1					
	画像処理工学	5 通	2					1		
	音響工学	5 通	2					1		
	自律分散システム	5 通	2					1		
	オブジェクト指向プログラム	5 通	2					1		
	ソフトウェア設計	5 通	2			1				
	技術英語	4 通	1			1				
特別選択科目	専門科目応用第一	1-5通			1	1				海外での活動経験を単位として認定するため科目を追加(25)
	専門科目応用第二	1-5通			1	1				
	国際化プロジェクト	1-5通			1	1				
	インターンシップ	4 通			1	1				

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
32	13	3	48	33	14	4	51	
				[1]	[1]	[1]	[3]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<人間情報システム工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	応用数学Ⅰ	4 通	2									兼 1	
	応用数学Ⅱ	5 通	2									兼 1	
	応用物理	4 通	2									兼 1	
	基礎電気学Ⅰ	1 通	2				1 0 1	1 2 0					学年進行中で、旧課程の担当科目との時間調整のため、担当者を教授から准教授に変更(22) 実験を一部実施のため、担当者を一名追加(22) 平成24年4月担当准教授が教授に昇任(24)
	基礎電気学Ⅱ	2 通	3				1	0				兼 1	兼担 1 を准教授に変更(23)
	情報工学基礎	1 通	2				1	1 +		1 +			情報リテラシーの担当変更に伴う担当者の変更(22) 学年進行中で、旧課程の担当科目との時間調整のため、担当者を教授から准教授に変更(22) 高専門人事交流による担当者の変更(24)
	情報リテラシー	1 通	2				1	1		+			基礎電気学Ⅰへ一名追加したため、助教の担当を変更(22) 平成24年度報告の訂正(担当助教の准教授昇任)(25)
	計算機工学	2 通	3				2 +	0 0 +					学年進行中で、旧課程の担当科目との時間調整のため担当者を准教授から教授に変更(23) 教員負担平準化のため、担当者を追加(24)
	情報処理	2 通	3				1 0	1 0		0 +	2		平成22年度報告の訂正(23) 平成24年4月採用予定准教授⑤で、未着任のため教授に変更(23)
	電気回路学	3 通	2				1 0	0 +					平成24年4月担当准教授が教授昇任(24)
	電子回路学	3 通	2							1 0		兼 1	教員負担平準化のため、担当者を変更(24)
必修科目	コンピュータアーキテクチャ	3 通	2					0 +		0 +		兼 1	平成22年度報告の訂正(23) 教員負担平準化のため、担当者の変更(24)
	プログラミング言語	3 通	2				1						
	プログラミング演習	3 通	2					1 0		0 +			平成23年4月担当助教が准教授昇任(24)

専 門 科 目	ネットワーク技術	3	通	2			1															
	システム工学概論	3	通	2			1					1									高専間人事交流による担当 者の変更 (24) 高専間人事交流終了による担 当者の変更 (25)	
	信号処理	4	通	2			1															
	応用電子回路	4	通	2																	兼 1	
	マイクロコンピュータ	4	通	2								1										
	電気磁気学	4	通	2								1										
	データ構造とアルゴリズム	4	通	2								1			0							平成22年度報告の訂正 (23)
	情報ネットワーク	4	通	2																		平成24年度報告の訂正 (担当助 教の准教授昇任) (25)
	オペレーティングシステム	4	通	2								1										
	人間環境工学	4	通	2								1										
	統計解析	5	通	2				1														
	情報数学	5	通	2				1														
	情報理論	5	通	2								1			0							平成22年度報告の訂正 (23)
	知的生産学	5	通	1																		兼 1 技術者倫理及び知財に関する 教育を実施するため科目を追 加 (25)
	創造基礎実験	1	通	2								2			0							平成22年度報告の訂正 (23)
情報工学実験 I	3	通	3				2				2			1							平成24年4月担当助教が准教 授昇任 (24) 教員負担平準化のため、担当 教授を追加 (24)	
情報工学実験 II	4	通	3				6				4			1							兼 1 平成22年度報告の訂正 (23) 教員負担平準化のため、担当 者を変更 (25)	
情報工学実験 III	5	通	3				4															
卒業研究	5	通	8				6				5			1							兼 2 平成22年度報告の訂正 (23) 平成24年4月担当准教授が教 授昇任 (24) 平成24年4月担当助教が准教 授昇任 (24)	
選 択 科 目	ソフトウェア工学	4	通		2						1											
	数値計算論	4	通		2				1													
	ヒューマンメディア工学	4	通		2				1													
	形式言語とオートマトン	5	通		2				1													
	データベース	5	通		2				1													
	システムプログラミング	5	通		2									1								
	数理情報工学	5	通		2							1										
線形システム工学	5	通		2				1														

	情報環境工学	5 通		2		1						
	ヒューマン情報処理	5 通		2			1					
	福祉・教育工学	5 通		2			1					
	認知情報工学	5 通		2						兼 1		
	技術英語	4 通		1		1					英語力の強化を図るため科目を追加 (25)	
特別 科目 選択	専門科目応用第一	1-5通			1	1						
	専門科目応用第二	1-5通			1	1						
	国際化プロジェクト	1-5通			1	1					海外での活動経験を単位として認定するため科目を追加 (25)	
	インターンシップ	4 通			1	1						

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
32	12	3	47	33	13	4	50	
				[1]	[1]	[1]	[3]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費（学校全体で記載）

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	駐車場面積の記入漏れのため(22)		
	校舎敷地	91,774㎡	0㎡	0㎡	91,774㎡			
	運動場用地	98,250㎡	0㎡	0㎡	98,250㎡			
	小 計	190,024㎡	0㎡	0㎡	190,024㎡			
	そ の 他	3,940 0㎡	0㎡	0㎡	3,940 0㎡			
	合 計	193,964 190,024㎡	0㎡	0㎡	193,964 190,024㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		32,862㎡ (32,862 m ²)	0㎡ (0 m ²)	0㎡ (0 m ²)	32,862㎡ (32,862 m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	ICT活用学習センター改修により1室増(24)	
		54室	5室	74室	15 14 室 (補助職員 0人)	2室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員の採用及び専任教員室の見直しのため(24) 専任教員の採用及び専任教員室の見直しのため(25)		
	機械知能システム工学科			16 室				
	建築社会デザイン工学科			16 室				
	生物化学システム工学科			15 室				
	情報通信エレクトロニクス工学科			17 +6 13 室				
	制御情報システム工学科			14 +3 13 室				
	人間情報システム工学科			15 +3 13 室				
	八代キャンパス共通教育科			21 室				
	熊本キャンパス共通教育科			17 +8 17 室				
	計			131 +12 124 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書、学術雑誌、視聴覚資料は、新規購入に伴う増、機械・器具は認可申請書様式第2号記入漏れ及び新規購入に伴う増(22) 新規購入に伴う増、購入見直し及び廃棄処分等に伴う減(25) 新規購入に伴う増、購入見直し及び廃棄処分等に伴う減(23) 蔵書点検を行った結果、蔵書数に減が生じたため修正(24) 図書は、新規購入に伴う増、学術雑誌及び視聴覚資料は、購入見直しに伴う減 機械・器具は認可申請書様式第2号記入漏れ及び新規購入に伴う増(22) 新規購入に伴う増(23) 図書、視聴覚資料は新規購入に伴う増、学術雑誌は、購入見直しに伴う減、うち電子ジャーナルは記入漏れ(24) 新規購入に伴う増(25)
	熊本高等専門学校 八代キャンパス	61,128 [2,400] 59,304 [2,349] 61,000 [7,010] 59,334 [6,877] 58,697 [6,829] (61,128 [2,400]) (59,304 [2,349]) (61,000 [7,010]) (59,334 [6,877]) (58,697 [6,829])	251 [15] -261 [24] -254 [22] 277 [24] 289 [29] (251 [15]) (-261 [24]) (-254 [22]) (277 [24]) (289 [29])	2,128 [2,128] 2,028 [2,028] 1,057 [1,057] (2,128 [2,128]) (2,028 [2,028]) (1,057 [1,057])	412 397 378 (412) (397) (378)	2,523 2,398 0 (2,523) (2,398) (0)	0 0 0 (0) (0) (0)	
	熊本キャンパス	80,141 [5,253] 74,843 [5,027] 73,216 [4,944] 71,468 [4,901] 66,000 [4,000] (80,141 [5,253]) (74,843 [5,027]) (73,216 [4,944]) (71,468 [4,901]) (66,000 [4,000])	49 [8] -90 [15] 102 [12] (49 [8]) (-90 [15]) (102 [15])	49 [8] -0 [0] -0 [0] (49 [8]) (-0 [0]) (-0 [0])	1,840 1,822 2,000 (1,840) (1,822) (2,000)	2,211 0 0 (2,211) (0) (0)	0 0 0 (0) (0) (0)	
	計	141,269 [7,653] 134,147 [7,376] 134,216 [11,954] 130,802 [11,778] 124,697 [10,829] (141,269 [7,653]) (134,147 [7,376]) (134,216 [11,954]) (130,802 [11,778]) (124,697 [10,829])	300 [23] -310 [32] -344 [37] 367 [39] 391 [41] (300 [23]) (-310 [32]) (-344 [37]) (367 [39]) (391 [41])	2,177 [2,136] 2,128 [2,128] 2,028 [2,028] 1,057 [1,057] (2,177 [2,136]) (2,128 [2,128]) (2,028 [2,028]) (1,057 [1,057])	2,252 2,234 2,219 2,378 (2,252) (2,234) (2,219) (2,378)	4,734 4,609 0 (4,734) (4,609) (0)	0 0 0 0 (0) (0) (0)	

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数				
	3,302㎡		160		98,000				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	4,919㎡		野球場 2 面 テニスコート 9 面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	「国費による」
		教員 1 人 当り 研究 費 等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人 当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は AC 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成 25 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

4 既設高専等の状況

大学 の 名 称	熊本高等専門学校								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
情報通信エレクトロニクス工学科	5	40	—	200	準学士	(1.06)	平成21年度	<熊本キャンパス> 熊本県合志市須屋 2659-2 <八代キャンパス> 熊本県八代市平山新町 2627	
制御情報システム工学科	5	40	—	200	準学士	(1.07)	平成21年度		
人間情報システム工学科	5	40	—	200	準学士	(1.06)	平成21年度		
機械知能システム工学科	5	40	—	200	準学士	(1.05)	平成21年度		
建築社会デザイン工学科	5	40	—	200	準学士	(1.06)	平成21年度		
生物化学システム工学科	5	40	—	200	準学士	(1.05)	平成21年度		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

(2) 専任教員数

<機械知能システム工学科>

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	7	0	3	16	0	8	7	0	1	16	0	
(6)	(7)	(0)	(3)	(16)	(0)	[2]	[0]	[0]	[Δ2]	[0]	[0]	

<建築社会デザイン工学科>

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	8	0	2	16	0	8	8	0	0	16	0	
(7)	(8)	(0)	(2)	(17)	(0)	[2]	[0]	[0]	[Δ2]	[0]	[0]	

<生物化学システム工学科>

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	7	0	2	15	0	6	4	2	3	15	0	
(5)	(5)	(0)	(2)	(12)	(0)	[0]	[Δ3]	[2]	[1]	[0]	[0]	

<情報通信エレクトロニクス工学科>

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	6	0	2	13	0	5	6	0	2	13	0	
(4)	(6)	(0)	(2)	(12)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

<制御情報システム工学科>

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	6	0	2	13	0	5	6	0	2	13	0	
(1)	(6)	(0)	(2)	(9)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

<人間情報システム工学科>

認可時の計画						変更後						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	6	0	2	13	0	6	6	0	1	13	0	
(5)	(4)	(0)	(2)	(11)	(0)	[1]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	

<八代キャンパス 共通教育科>

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
4	10	7	0	21	0	9	8	3	1	21	0	
(5)	(10)	(5)	(0)	(20)	(0)	[5]	[Δ2]	[Δ4]	[1]	[0]	[0]	

<熊本キャンパス 共通教育科>

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
8	6	3	0	17	0	7	7	1	2	17	0	
(5)	(8)	(3)	(0)	(16)	(0)	[Δ1]	[1]	[Δ2]	[2]	[0]	[0]	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

6 留意事項に対する履行状況等

区分	留意事項	履行状況	未履行事項についての実施計画
	<p>1. 統合する両高等専門学校の教育研究資源の有効活用及び教育内容の整備に留意し、統合の趣旨・目的等が活かされるよう、両高等専門学校が連携して、開設に向けた諸準備（教員組織、教育課程の整備等）を円滑に進めるとともに、開設後は設置計画を確実に履行すること。</p>	<p>統合の趣旨・目的を達成するため、新高専の教職員組織、運営体制及びPDCAサイクル等を明確化し、内外に周知するとともに、関連する規則について、随時、共通化を図っている。また、センター活動の推進、専攻科充実、教育課程の整備等具体的な活動についても、それぞれの担当部署において両キャンパス間の協議や連携活動が推進されている。(22)</p> <p>統合による設置計画の履行に向けて、学校運営のPDCAサイクルの構築、全学委員会等の規則整備、入学試験の実施・学生募集活動の一体化、平成23年度入学式の共同実施、新設の3センターの両キャンパス教職員連携による運営など両キャンパスの共通化を継続して図っている。(23)</p> <p>統合による設置計画の履行については、既設学科との連動を踏まえて学年進行に伴う教育課程の整備などを両キャンパス間で協議し、実行している。両キャンパス間の教員組織の融合・共通理解を図るため、両キャンパス合同のFD研修会を実施した。また3センターごとに両キャンパスを通じた各種事業を展開し、実績を積んでいる。(24)</p> <p>教員研修、1、2年生合同研修など教員および学生の両キャンパス間の交流活発化を図った。編入学募集要項を統一するなど入試業務も連携して確実に実施している。3センターによる両キャンパスを通じた様々な事業を実施している。(25)</p>	<p>平成23年度からの入学式の共同実施、平成24年度からの学生服の共通化を初め、今後も各種制度、規則等について、共通化を図り、統合の趣旨・目的を達成するよう、着実に設置計画を履行していく予定である。(22)</p> <p>教員及び学生のキャンパス間交流をさらに活発にするためのシステムについて関係委員会等において、今後さらに検討していく予定である。(23)</p> <p>教員研修、1、2年生合同研修など教員および学生の両キャンパス間の交流活発化を図るとともに、各種行事・業務等での両キャンパス関係委員会による検討を引き続き実行していく予定である。(24)</p> <p>再編・統合の最終年度に向け、各センターの業務分担等も考慮し、教員の適切な配置、新教育課程の見直しなど設置計画をさらに充実したものとなるよう整備を進める。また、卒業式の合同での実施など、引き続き両キャンパス間の交流を図るとともに、各種行事・業務等での両キャンパス関係委員会による連携を継続していく予定である。(25)</p>

認可時
(20年12月)

2. 各地域ブロックの拠点として地域貢献や産学連携を行う地域人材開発本部等の各種センターを設置するにあたっては、高等専門学校の本分である学科の教育に支障がないよう、学科・専攻科・センターそれぞれにおける教職員の負担に留意すること。

新設の3センターに専任教員を配置し、地域貢献や産学連携を強化する一方で、学科の教育に支障が生じないよう、新高専の教育課程が完成するまでの移行期間については、教員負担の平準化のために、担当科目を調整するとともに、科目によっては一時的に非常勤講師を採用し負担を軽減している。(22)

今後も、新高専の教育課程完成までの移行期間については、全学的な協力体制の下、一部の教職員に負担が集中しないよう、年度毎に調整を行うものとする。(22)

一部の教員へ負担が集中し学科の教育等に支障が生じないように、今年度も教員の授業担当の調整を行い、授業負担の平準化を継続して行った。(23)

授業負担の平準化を継続しながら、学校運営のための各種委員会等の業務合理化・見直しに向けた検討、新設の3センターの活動における将来構想(中期活動計画)の検討など教職員の負担軽減に向けた取り組みを実施する。(23)

一部の教員へ負担が集中し学科の教育等に支障が生じないように、前年度に引き続き今年度も教員の授業担当の調整を行い、授業負担の平準化を継続して行った。(24)

授業負担の平準化を継続しながら、学校運営の各種委員会等の業務合理化の検討、新設の3センターの活動における将来構想(中期活動計画)の検討など、前年度に引き続き、教職員の負担軽減に向けた取り組みを実施する。(24)

一部の教員へ負担が集中し学科の教育等に支障が生じないように、前年度に引き続き今年度も教員の授業担当の調整を行い、授業負担の平準化を継続して行った。(25)

最終年度に向け、各種委員会等の業務合理化の検討、新設3センターの活動状況も踏まえ、総合的な授業負担の平準化が図れるよう、前年度に引き続き、教職員の負担軽減に向けた取り組みを実施する。(25)

3. 統合に伴う両キャンパス間の一般科目の均質性・均等性についてはかなり改善をされているが、一部の科目で科目名称が同一にも関わらず単位数が異なっているなど、開講している科目の内容に差異がある。一般科目の受講機会アンバランスや内容の差異がなくなるよう努めること。

以下のような項目を見直し、一般科目のカリキュラムを修正している。

(1)「国語Ⅰ」、「国語Ⅱ」見直し基本となる内容と単位数を各学科で共通化し、発展部分を分割する。その結果、国語系科目は国語Ⅰ・国語Ⅱ・国語Ⅲと1年から3年まで全学科共通化される。

◎情報通信エレクトロニクス工学科、制御情報システム工学科、人間情報システム工学科

・ 国語Ⅰ(3単位)を国語Ⅰ(2単位)と国語演習Ⅰ(1単位)に分割

・ 国語Ⅱ(3単位)を国語Ⅱ(2単位)と国語演習Ⅱ(1単位)に分割

◎機械知能システム工学科、建築社会デザイン工学科、生物化学システム工学科

・ 国語Ⅰ(2単位)そのまま
・ 国語Ⅱ(2単位)そのまま

左記のように、科目内容についての差異は解消し、科目数についても改善されており、今後は学年進行に伴い、これらを着実に実行していく予定である。(22)

		<p>(2)「倫理」 見直し 単位数の違いに合わせて、科目名称・授業内容を変更する。</p> <p>◎情報通信エレクトロニクス工学科、制御情報システム工学科、人間情報システム工学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 倫理(2単位)を、倫理A(2単位)に名称変更 <p>◎機械知能システム工学科、建築社会デザイン工学科、生物化学システム工学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 倫理(1単位)を、倫理B(1単位)に名称変更(22) <p>改正されたカリキュラムを学年進行に合わせて実行している。(23)</p> <p>改正されたカリキュラムを学年進行に合わせて実行している。(24)</p> <p>改正されたカリキュラムを学年進行に合わせて着実に実行している。(25)</p>	<p>改正されたカリキュラムを学年進行に合わせて着実に実行していく予定である。(23)</p> <p>引き続き、改正されたカリキュラムを学年進行に合わせて着実に実行していく予定である。(24)</p> <p>最終年度に向け、改正されたカリキュラムを着実に実行していく予定である。(25)</p>
設置計画履行状況調査時 (23年2月)	「該当なし」		
設置計画履行状況調査時 (24年2月)	「該当なし」		
設置計画履行状況調査時 (25年2月)	「該当なし」		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
「該当なし」	

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>○熊本高等専門学校地域PBL・総合教育センター規則 (趣旨)</p> <p>第1条 この規則は、熊本高等専門学校内部組織規則（以下「内部組織規則」という。）第10条第5項の規定に基づき、熊本高等専門学校PBL・総合教育センター（以下「センター」という。）に関し必要な事項を定める。</p> <p>(目的)</p> <p>第2条 センターは、PBL利用教育、国際化教育、地域との連携教育、キャリア教育等により、熊本高等専門学校が目指す新しい技術者教育の高度化及び九州・沖縄地区の国立高等専門学校の教員の資質の向上を図り、かつ、その成果を他の国立高等専門学校及び地域の教育機関等に普及することを目的とする。</p> <p>(業務)</p> <p>第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) PBL利用教育の推進に関すること。 (2) 国際化教育の推進に関すること。 (3) 職業観の涵養及びキャリア教育の推進に関すること。 (4) 科学技術教育の支援に関すること。 (5) その他高専教育の推進に関すること。 <p>(事業部)</p> <p>第4条 センターに、次に掲げる事業部を置く。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) PBL利用教育事業部 (2) 国際化教育事業部 (3) キャリア教育推進事業部 (4) 科学教育支援事業部 <p>2 事業部に関し必要な事項は、別に定める。</p> <p>(職員)</p> <p>第5条 センターに、次に掲げる職員を置く。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) センター長 (2) 副センター長 (3) センターの専任教員（以下「専任教員」という。） (4) 内部組織規則第10条第4項の規定により設置するPBL総合・教育センター熊本キャンパス委員会及びPBL総合・教育センター八代キャンパス委員会の委員（前3号に掲げる者を除く。） (5) その他必要な職員 若干名 <p>2 センター長及び副センター長（以下「センター長等」という。）は、校長が指名する。</p> <p>3 センター長は、校長の命を受け、センターの業務を掌理する。</p> <p>4 副センター長は、センター長の命を受け、その業務を補佐する。</p> <p>5 センター長等の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。</p> <p>6 第1項第5号の職員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。</p> <p>(専任教員)</p> <p>第6条 専任教員は、校長が指名する。</p> <p>2 専任教員は、センターの業務に従事する。</p> <p>(事業部長及び副事業部長)</p> <p>第7条 事業部に、事業部長及び副事業部長を置く。</p> <p>2 事業部長は、事業部の業務を統括する。</p> <p>3 副事業部長は、事業部長を補佐する。</p> <p>4 事業部長及び副事業部長は、第5条第1項各号の職員のうちから、センター長の推薦に基づき、校長が任命する。</p> <p>5 事業部長及び副事業部長の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。</p> <p>(センターの運営)</p> <p>第8条 センターの運営に関する事項は、内部組織規則第10条第4項の規定により設置する熊本高等専門学校PBL・総合教育センター運営委員会において、審議する。</p> <p>(事務)</p> <p>第9条 センターの事務は、学生課及び学務課において処理する。</p> <p>(雑則)</p> <p>第10条 この規則に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、別に定める。</p>

○熊本高等専門学校八代キャンパス教務委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、熊本高等専門学校八代キャンパス内部組織規則第3条第2項の規定に基づき、熊本高等専門学校八代キャンパス教務委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、八代キャンパスに係る次に掲げる事項を審議する。

- (1) 年間教育計画及び授業時間割の編成に関する事。
- (2) 学校行事に関する事。
- (3) 学生の身分に関する事。
- (4) 試験及び学業成績に関する事。
- (5) 出欠席の取扱い及び指導要録に関する事。
- (6) 教育改善の実施に関する事。
- (7) 教育活動に関する点検及び改善に関する事。
- (8) その他教務に関する事。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 八代キャンパスの教務主事
- (2) 専攻科長又は副専攻科長
- (3) 八代キャンパスの学科及び共通教育科から選出された教員 各1名
- (4) 学務課長補佐
- (5) 学務係長

2 前項第3号の委員は、校長が任命する。

(任期)

第4条 前条第1項第3号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、教務主事をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 委員会の事務は、学務課において処理する。

(雑則)

第8条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

○熊本高等専門学校八代キャンパス学生委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、熊本高等専門学校八代キャンパス内部組織規則第3条第2項の規定に基づき、熊本高等専門学校八代キャンパス学生委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、八代キャンパスに係る次に掲げる事項を審議する。

- (1) 課外活動に関する事。
- (2) 学生会及びその他の学生団体に関する事。
- (3) 入学金及び授業料減免に関する事。
- (4) 奨学金に関する事。
- (5) 保健及び生活指導に関する事。
- (6) 賞罰に関する事。
- (7) 学生委員会活動に関する点検及び改善に関する事。
- (8) その他厚生補導及び学生支援に関する事。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 八代キャンパスの学生主事
- (2) 八代キャンパスの学科及び共通教育科から選出された教員 各1名
- (3) 学生係長

2 前項第2号の委員は、校長が任命する。

(任期)

第4条 前条第1項第2号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学生主事をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 委員会の事務は、学務課において処理する。

(雑則)

第8条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

○熊本高等専門学校熊本キャンパスFD推進委員会規則

(設置)

第1条 熊本高等専門学校熊本キャンパス（以下「本キャンパス」という。）に、FD推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(定義)

第2条 この規則においてFD（ファカルティ・ディベロップメント）とは、教員の教育内容及び教育方法を改善し、資質と能力を高めるための組織的かつ継続的な取り組みをいう。

(目的)

第3条 委員会は校長の諮問に応じ、FDについて本キャンパスの基本事項を審議し、対応策を決め、教員の意識改革の推進を図るとともに、本キャンパスにおける教育機能の充実に寄与することを目的とする。

(審議事項)

第4条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 公開研究授業、研究会・研修会活動の企画及び実施に関すること。
- (2) 学生による授業評価の実施に関すること。
- (3) 教材開発に関すること。
- (4) その他教育内容及び方法の改善に関すること。

(組織)

第5条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 各学科及び共通教育科から選出された教員 各1名
- (2) 教務主事補から選出された教員 1名
- (3) 専攻主任又は専攻副主任から選出された教員 1名
- (4) 学生課長
- (5) その他校長が必要と認めた者

2 前項第1項第1号、第2号、第3号及び第5号の委員は、校長が任命する。

(任期)

第6条 前条第1項第1号、第2号、第3号及び第5号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第7条 委員会に委員長を置き、校長が指名する委員をもって充てる。

2 委員長は委員会を召集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(定足数及び議決数)

第8条 委員会は、委員の2分の1以上の出席がなければ議事を開くことができない。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第9条 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(他の委員会等との連携)

第10条 委員会は、他の委員会等と相互に連携し、本校におけるFDの推進活動を補完し合うものとする。

(報告)

第11条 委員長は、授業評価アンケート、授業視察・授業参観及び授業改善計画書等FD活動の結果を校長に報告するものとする。

(指導・助言)

第12条 校長は前条の報告を基に、必要に応じ、教員に教育の内容及び方法の改善について指導・助言を行う。

(事務)

第13条 委員会に関する事務は、学生課において処理する。

(雑則)

第14条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・PBL・総合教育センター：隔週1回（センター長、副センター長、事業部長、副部長、学科選出教員）
- ・教務委員会：毎週1回（教務主事、専攻科長、各学科選出教員5名）
- ・学生委員会：毎週1回（学生主事、各学科選出教員5名）
- ・FD推進委員会：月1回程度（各学科選出教員5名、教務主事補1名、専攻主任1名、学生課長）

c 委員会の審議事項等

・PBL・総合教育センターPBL利用教育推進部会

(1) PBL利用教育推進を目的とした研修に関すること。

・PBL・総合教育センターキャリア教育推進事業部会

(1) キャリア教育に関する教員の資質向上のための研修に関すること。

・教務委員会

- (1) FD研修会実施の企画・立案及び点検・評価に関する事項
- (2) 授業アンケート実施の企画・立案、調査・集計及び結果のまとめに関する事項
- (3) 授業モニタリングの企画・立案及び点検・評価に関する事項
- (4) 新任教員研修の企画・立案及び報告書の作成に関する事項

・学生委員会

(1) 学生の厚生補導及び学生の特別指導に関する事項

・FD推進委員会

- (1) 公開研究授業、研究会・研修活動の企画に関する事項
- (2) 学生による授業評価の実施に関する事項
- (3) 教材開発に関する事項
- (4) その他教育改善に必要な事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・PBL利用教育推進を目的とした研修
- ・キャリア教育に関する教員の資質向上のための研修会
- ・教育に関する教員の資質向上のためのFD研修会
- ・教員相互の授業モニタリング（授業研究）
- ・新任教員の教務研修
- ・学生の厚生補導及び学生の特別指導に関する研修
- ・共通教育に係る課題に関する研修会
- ・公開授業の実施

b 実施方法

- ・PBL利用教育推進を目的とした研修：外部講師による講演、事例紹介及び意見交換
- ・キャリア教育に関する教員の資質向上のための研修会：ワークショップ
- ・教育に関する教員の資質向上のためのFD研修会：外部講師による講演、事例紹介、意見交換及びまとめ発表
- ・教員相互の授業モニタリング（授業研究）：教員全員が期間中1回以上モニタリング（授業見学、モニタリングカードの作成）を行い、教員相互間の授業を参観
- ・新任教員の教務研修：校長講話、教務主事を中心に教務関係業務等の説明及び質疑応答
- ・学生の厚生補導及び学生の特別指導に関する研修：外部講師による講演、意見交換
- ・共通教育に係る課題に関する研修会：外部講師による講演、事例紹介、意見交換及びまとめ発表
- ・公開授業：保護者及び教員を対象にした授業公開

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・PBL利用教育推進を目的とした研修：PBL利用教育に関する教員研修会：24. 6. 8（30名）、25. 1. 25（20名）
GP最終報告研修会：25. 3. 13（30名）
- ・キャリア教育に関する教員の資質向上のための研修会：キャリア教育研修会：25. 3. 23-24（17名）
- ・教育に関する教員の資質向上のためのFD研修会：教員FD研修会：24. 9. 3（97名）
- ・教員相互の授業モニタリング（授業研究）：授業モニタリング：24. 12. 6-20（81名）
- ・新任教員の教務研修：新任の教員教務研修：24. 4. 2（3名）、24. 10. 29（1名）
- ・学生の厚生補導及び学生の特別指導に関する研修：教員FD研修会に合わせて実施：24. 9. 3（40名）
- ・共通教育に係る課題に関する研修会：教員FD研修会に合わせて実施：24. 9. 3（40名）
- ・公開授業：保護者を対象した授業公開（授業参観）：24. 4. 28
：教員を対象にした授業公開：

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・教員の資質向上に繋がる教員向け研修会の実施や、PBL利用教育と関連する教育事例発表会、学会等発表会の実施に向けた企画を継続して行う。
- ・教員の資質向上を目的とした学外のFD研修等に教員を積極的に派遣することを継続して行う。
- ・公開授業及び授業評価に対する意見交換・改善提案を、教育改善グループで継続して討論を重ねる。

③ 学生に対する授業アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・教務委員会、FD推進委員会で実施
- (1) 学生を対象にした授業評価アンケート：24. 7. 2-7. 27
- (2) 公開授業（授業参観）後の保護者を対象にした授業アンケート：23. 4. 29（152名）
- ・PBL・総合教育センターPBL利用教育推進部会で実施
- (3) 主体的学び学生アンケート：23. 9. 26-10. 14（1, 534名）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- (1) 学生を対象にした授業評価アンケート：結果を集計後、教員アンケート結果をフィードバックするとともに、教員は授業改善レポートを提出し、学内でレポートを公開した。
- (2) 公開授業（授業参観）後の保護者を対象にした授業アンケート：アンケート結果を集計し、教員会で周知した。

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

・熊本高等専門学校(以下「熊本高専」という。)では、学校教育法第109条のに基づき、本校の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について、熊本高専自己点検評価委員会を設置し、自ら点検及び評価を行い、その結果を本校のHPで広く社会へ公表している。第2期熊本高専中期目標・中期計画(平成21年4月1日～平成26年3月31日)を基に、各年度の年度計画を策定し、当該年度末に熊本高専自己点検評価委員会により年度計画の点検結果、次年度に向けた課題及び年度計画に対する達成度等を点検し、その都度、本校のHPで公開している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成24年5月17日 公表

b 公表方法

・前年度に継続して、平成23年度熊本高専年度計画の点検結果、次年度に向けた課題及び年度計画に対する達成度を本校ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成18年度に八代高専と熊本電波高専は機関別認証評価(大学評価・学位授与機構)の評価を受けた。
・熊本高専は平成27年度又は平成28年度に機関別認証評価(大学評価・学位授与機構)の評価を受ける予定である。

- (注) ・ 設置認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (5月17日、速やかに公表する予定。)